

出張族必見 新幹線「いまどき」利用術(第5回)

出張帰りに北陸新幹線で、冬の金沢へ行こう

2015.11.24



今年3月に金沢まで開業した北陸新幹線。今回は、東京・大阪間の日帰り出張に1泊プラスすることで、身近に味わえるようになった金沢の魅力と、お得な「きつぷ」の購入術をご紹介します。

“冬”の旅こそ薦めたい小京都・金沢

金沢は、言わずと知れた加賀百万石の城下町。戦災を逃れた古い街並みを残すとともに、北陸随一の商業都市として近代的なビル街も発展するなど、新旧両面の都市景観が訪れる人を迎えてくれます。

金沢を訪れる観光客が、まず目指すのも「兼六園・金沢城跡」を筆頭に「武家屋敷」「ひがし茶屋街」「尾山神社」など。これらの名所は、古き良き金沢を代表する都市景観として、外せないところでしょう。



冬の兼六園（写真提供：金沢市）

こうした都市景観は、海や山などの自然景観とは異なり、1年を通じて観光を楽しめる良さがあります。しかし地元の人からは、雪化粧が映える「冬が一番だ」と推す声が聞かれます。

金沢の繁華街・片町で飲食店を営んでいる地元人・越村有紀さんもその一人。「例えば写真を撮るにしても、春夏秋は季節が分かりにくい名所が多いでしょう？ 春の桜や秋の紅葉を狙うという選択もありますが、『今が一番』というタイミングで訪れるのは、なかなか難しいものですから」と、これからの季節の旅行を勧めます。

金沢の「食」は冬にあり



にぎわう冬の市場の様子

越村さんが冬の金沢を勧める理由はもう一つ。冬の訪れに合わせて金沢では、「ズワイガニ」「ボグロ」「ブリ」「甘エビ」「真牡蠣(マガキ)」といった、同地を代表する海産物が旬を迎えます。

「カニやボグロは高級食材ですが、地元の人が通う店が並ぶ片町かいわいでは、気取らず手ごろな価格で食べさせてくれる店も多いですよ」と越村さん。「金沢港まで足を延ばせば、漁協直営の『いきいき魚市』もあります。屋台で手軽に味わえますし、土産物をそろえることもできます」と話してくれました。

「乗車券の買い方」を工夫してリーズナブルに

出張帰りに足を延ばして金沢を訪れたいという場合、乗車券の買い方を工夫すること通費を抑えることができます。…
続きを読む